

2026年6月25日

各位

沖縄県労働金庫

「ろうきん・あとっぽプロジェクト」 地域で活躍する高校生・大学生16グループへ寄附決定しました！

沖縄県労働金庫（理事長 東盛 政行）は、高校生・大学生に向けた地域活動・社会活動支援策とした「ろうきん・あとっぽプロジェクト」の寄附先グループが決定しました。

本プロジェクトは、沖縄・地域のために何かしたい高校生・大学生の活動を応援する寄附金となっています。「社会人」より活動資金を得ることが難しい「学生」へ資金支援を行うことで、学生自身が活動を通じて得られる知識や経験の広がり、沖縄の地域活動・社会活動のさらなる活性化を期待します。

申込のあった62グループから、こども食堂を利用する子ども達を対象に1日高校生体験を実施したいグループや、県内の子ども達向けに「プログラミング体験会」や「ロボット製作体験会」開催を計画するグループなど、16グループ（高校生10グループ、大学生6グループ）を選出いたしました。

今後も当金庫の理念にある「人々が喜びをもって共生できる社会の実現」のため、地域活動・社会活動のさらなる活性化に取り組んでまいります。

記

1. 「ろうきん・あとっぽプロジェクト」概要

(1) 対象者

沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等の地域活動・社会活動に取り組む高校生、大学生のグループ（2人以上）であること。

(2) 寄附金額

総額 150 万円

1 グループ上限 10 万円

(3) 応募状況

2026年4月1日～5月31日に募集し、

62 グループを応募受付

高校生：28校 51 グループ 大学生：19校 11 グループ

(4) 寄附先について

16 グループに寄附決定

高校生：11校 10 グループ 大学生：2校 6 グループ



2. 寄附先グループ一覧

No (順不同)	学校名	グループ名	寄附金額	寄附金の使い道	地域	管轄店
1	南部工業高校	チーム南工「地域に恩返しプロジェクト隊」	10万円	富盛公民館と協議してベンチ・ごみ箱を製作し、寄贈したり、近隣の新城小学校5年生を迎え、地域貢献体験交流会を実施してプログラミング体験やコースター製作など体験活動を通して小学生との交流を深めている。ものづくりを通じた活動のため、製作における材料費や消耗品費として活用し、地域に恩返しを行いたい。	八重瀬町	与那原支店
2	興南高校	興南高校JRCインターアクトクラブ	10万円	画面に笑顔を作ることで1スマイル1円の寄付ができるスマイルプロジェクトを行いたい。沖縄県内では名護市の大宮中学校を皮切りに、那覇高校でも行われている。活動を行うためには笑顔を記録するiPadが必要で購入資金に充てたい。	那覇市	おもろまち支店
3	球陽高校 前原高校	Remember	10万円	基地形成の経緯や米軍基地についてあまり知らないことを改めて認識したことで、より基地についての学びを深めたいと思った。フィールドワークや宴会、離島の見学などの資金に充てたい。	沖縄市	コザ・具志川支店
4	美味特別支援学校	Next Door	10万円	将来、事務の仕事をするために、実習やアドリンピックの練習を頑張っているが、学校には本物の機械がなく、手書きのプリントや狭い机では本物の会社のような練習ができなくて困っている。助成金で長机やプリンターやシュレッダーなどの機材を揃えて、教室の中に『小さな会社』を作りたい。	沖縄市	コザ・具志川支店
5	八重山商工高校	写真同好会	10万円	「作品制作の質の向上」と「校外での撮影実習」の二点に活用したい。県内の高文連大会や全国規模のフォトコンテストへの応募に不可欠な、高品質なインク・写真用紙の購入費、および作品の郵送料として使用する。	石垣市	八重山支店
6	宮古総合実業高等学校	OLIVIA	6万円	助成金を活用し、子ども食堂を利用する子どもたちを対象に1日高校生体験を実施したい。宮古総合実業高校で学べる内容を教えたり、制服を着用したりして、普段できない体験を通して、将来について考えるきっかけを作りたい。	宮古島市	宮古支店
7	小禄高等学校	ゆいブルーリンク	10万円	沖縄観光の最大の課題である「観光客の消費額向上」の解決に向け、企画する5泊6日の高付加価値ツアーの社会実装を目指す第一段階として、5～6時間の縮小版プロトタイプ実証実験(検証イベント)を開催したい。助成金についてはプログラム体験費・会場費、安全管理・運用費に最適配分して使用させていただきたい。	那覇市	本店営業部
8	首里高校	沖縄県立首里高等学校クッキング部	10万円	首里城復興の節目に合わせて、「首里城復興・平和・沖縄食文化発信プロジェクト」として活動したい。これまで全国大会で評価をいただいた料理やアイデアを、受賞で終わらせるのではなく、そこからさらに改良し、地域や社会へ実際に還元していく新たなスタートとして発表させたい。調理器具の整備、食材費、試作・改良費、イベント出店費、地域交流イベント運営費、PR資材制作費に充てたい。	那覇市	おもろまち支店
9	沖縄尚学高校	Sugar Kane	10万円	沖縄で大量に発生するサトウキビ由来の副産物「バガス」に着目し、バガスを活用した製品開発、外部との連携、ヒアリング調査を進めている。歯ブラシの製品化に向けてファイブ(株)と提携しており、委託提携にかかる費用に助成金を活用したい。	那覇市	本店営業部
10	北部農林高校	チーム昆虫食	5万円	過去にもオキナワニッケイを利用したマフィンの開発など、未利用資源の菓子製造への活用に関心をもち、私達はサゴームを活用して菓子製造ができないか検討を行っている。株式会社琉球昆虫と提携しながら、サゴームを活用した菓子の製造を続けていく予定で、寄附金は試作の原料費として使いたい。	名護市	名護支店
11	県立看護大学	ふしやぬふ・うぐな〜ri * café	10万円	多良間島で中学生まで育った子どもたちは高校進学のため島立しないといけない、寄り添い相談できる存在になるため4年前に立ち上げた。助成金は月1回の交流会(進路支援・プレコンセンションケア勉強会等)の運営費用として活用し継続的な伴走支援を行いたい。	那覇市	本店営業部
12	琉球大学	琉球大学Robotサークル	10万円	ものづくりを志す学生が、学部を超えて集い、自由に交流し、互いに学び合いながら技術を高め合うことを目的として設立された。ロボット製作や大会出場などで培ったものづくりの知識や技術を小中学生向けの体験会を通じて、沖縄県内の子どもたちに自分形にする楽しさや科学技術の奥深さを伝え、理数分野への興味関心を喚起している。「ロボット製作体験会」「プログラミング体験会」「ロボット製作体験会」で活用したい。	西原町	浦添・普天間支店
13	琉球大学	RYUKYUJ30	10万円	様々な環境的要因(経済的・地理的・環境的)による教育格差への問題意識で無料塾を立ち上げた。沖縄県内の大学受験生を対象にした無料の学習支援・進路サポート団体で、現役の琉球大学生を中心に運営しており、総合的に受験生のサポートを行っている。参考書や筆記用具代としたい。	西原町	浦添・普天間支店
14	琉球大学	映画上映サークルしまじま	9万円	映画の上映とその後のトークセッションをセットにした場づくりを行うために設立。映画を通して語り合うことで言葉にしにくいことも、自身の体験や感情からしゅぼつてフラットに声を交わすことが出来る。今年は水俣病の公式確認から70年目の節目であり、「ドクちゃんフジとサクラにつぐ愛〜」の上映費用としたい。	西原町	浦添・普天間支店
15	琉球大学	i plus+	10万円	島嶼地域の学校で教育支援を行い、子ども達の学習機会の拡充を目指すとともに、支援活動をおして大学生自身も成長することを目指している。伊江島、津堅島、沖縄市内自治会で学習支援を行っている。ブックバンクや教育支援で助成金を活用したい。	西原町	浦添・普天間支店
16	琉球大学	Off the Clock	10万円	救急医療や総合診療、国際医療に関する勉強会企画を学生で定期的に開催しており、学んだ知識や技術を学生内だけで終わらせるのではなく、地域へ還元し、子ども向け・市民向けにAEDの使い方や胸骨圧迫のやり方を教えるBLS講習会も開催している。「沖縄県学生メディアラバー」の企画・運営費としたい。	西原町	浦添・普天間支店
寄附総額			150万円			

以上

本件に関するお問合せ先
 沖縄県労働金庫 経営統括部
 経営企画課 担当：平良
 TEL:098-861-1196